

# 福祉生活病院常任委員会資料

(令和4年9月20日)

## 【件名】

- 新型コロナウイルス感染症への対応について  
(新型コロナウイルス感染症対策推進課) . . . 2
- BA.5対応型安心確立進化系システムへの移行について  
(新型コロナウイルス感染症対策推進課) . . . 4
- 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取組状況について  
(新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム) . . . 5

新型コロナウイルス感染症対策本部事務局

# 新型コロナウイルス感染症への対応について

令和4年9月20日  
新型コロナウイルス感染症対策推進課

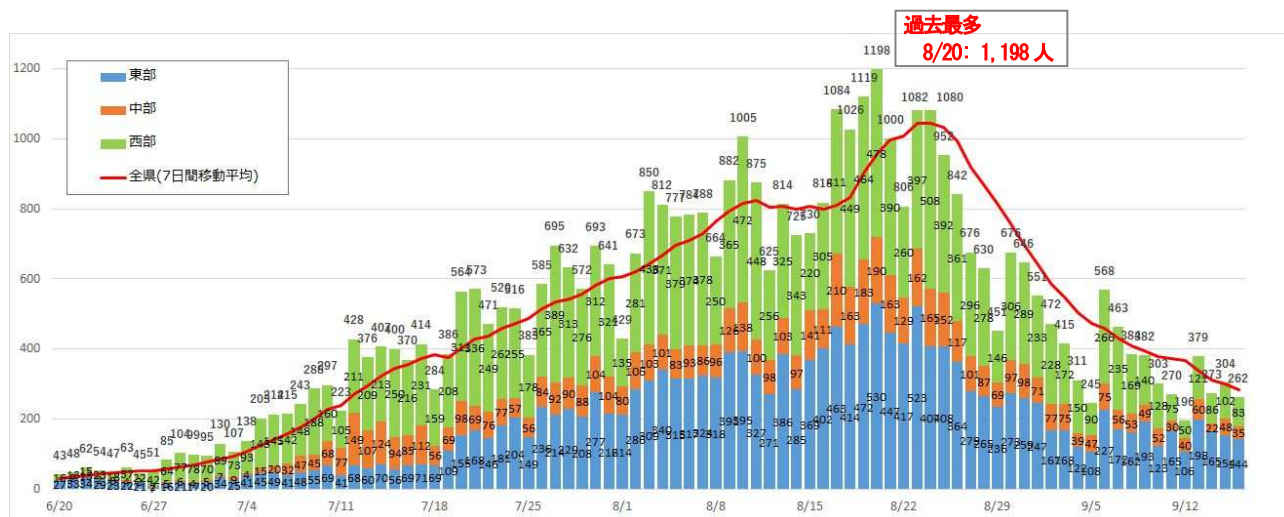
## 1 県内における感染者の発生状況

(1) 第7波以降の感染者数（令和4年6月20日～9月16日、発表日ベース）

44,061名（鳥取市保健所17,300名・倉吉保健所6,743名・米子保健所20,018名）

（参考）累計感染者数 59,911名（鳥取市保健所23,859名・倉吉保健所8,661名・米子保健所27,391名）

### <新規感染者数の推移>



(2) 第7波のクラスター発生状況（令和4年9月16日現在、発表日ベース）

区分	鳥取市	倉吉	米子	分類計	(参考) 累計発生件数
学校・保育所等	35	22	51	108 (42%)	177 (43%)
高齢者施設等	34	15	41	90 (35%)	114 (27%)
事業所	8	4	25	37 (14%)	56 (13%)
医療機関	3	6	4	13 (5%)	21 (5%)
飲食店	0	0	1	1 (1%)	20 (5%)
その他	2	1	4	7 (3%)	29 (7%)
管内計	82 (32%)	48 (19%)	126 (49%)	256 (100%)	417 (100%)

(3) 第7波以降死亡者数（令和4年9月16日現在、発表日ベース）※括弧内は累計死亡者数

死亡	うち新型コロナウイルス感染症を死因とする死亡
48 (68)	17 (25)

## 2 各種要請・警報の発令状況（令和4年9月16日現在）

(1) 特措法第24条第9項による協力要請

区域 鳥取県全域

期間 令和4年9月15日から9月30日まで

要請内容

- ・飛沫を意識して、メリハリのあるマスク着用
- ・感染リスクを下げるため、密を避けて人と人との距離の確保（2m程度）
- ・エアロゾルを意識した換気の徹底（エアコン使用時もこまめな換気）
- ・大人数・大皿の取り分けを避け、黙食・マスク会食の徹底
- ・イベントの前後も含めて大騒ぎしないなど感染拡大を起こさない行動の徹底
- ・シルバーウィークや大学再開に伴う帰省など、県外往来の際は積極的に無料検査を受検
- ・発熱などの症状があれば、電話をした上で、通常の診療時間に受診
- ・ワクチンの早期接種による発症・重症化リスクの低減

(2) 鳥取県版新型コロナ警報  
(令和4年9月16日現在)

地域	発令状況	備考
東部	警報	8月4日～
中部	注意報	9月12日～
西部	警報	9月15日～

(3) 新規陽性者の動向を踏まえた注意喚起情報  
(令和4年9月16日現在)

地域	発出状況	備考
県内全域	感染拡大警戒情報	9月15日～

(4) 「レベル分類」の本県独自の判断指標状況  
(令和4年9月16日現在)

○本県のレベル：レベル2

○判断指標（算定基準日：令和4年9月16日、直近1週間：令和4年9月10日～16日）

指標	数値	算式
新規陽性者数(対人口10万人/週)	359.0人	1,987人/55.3万人×10万人
確保病床使用率(※)	31.9%	112床/351床
重症者用確保病床使用率	4.3%	2床/47床

※他県で確認された陽性者が使用する数を含む場合があります。

## BA.5 対応型安心確立進化系システムへの移行について

令和4年9月20日  
新型コロナウイルス感染症対策推進課

新型コロナウイルス感染症に係る発生届について、8月25日に国が対象者の限定を可能とする措置を講じたことを受け、本県は医療機関や保健所等との調整を速やかに進め、初回受付の8月29日に国へ届出を行い、9月2日から「BA.5 対応型安心確立進化系システム」の運用を開始した。

### 1. 発生届出の限定化について

新型コロナウイルス感染症オミクロン株亜系統 BA.5 系統による過去最大の感染拡大により、国は、8月25日に医師が新型コロナウイルス感染症患者を診断した場合に全数の発生届出を義務付けることについて、医療機関及び保健所の負担となり、患者への医療提供に支障が生じるおそれがある場合は、発生届出の対象を重症化リスクのある以下の者に限定することを可能とした。(※9月26日(月)からは全国一律で実施)

- ・65歳以上の者
- ・入院を要する者
- ・重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ治療薬の投与又は酸素投与が必要な者
- ・妊婦

※なお、医療機関等からの報告により、年代別陽性者数の全数を把握している。

### 2. 本県の対応「BA.5 対応型安心確立進化系システム」について

#### (1) 概要

陽性者の安心を確保しつつ重症化リスクのある方の対応に重点化し、発生届出対象を限定化しても、全ての陽性者の安心を確保するため、9月2日から次のとおり「BA.5 対応型安心確立進化系システム」の運用を開始した。

- 重症化リスクのある方（発生届出対象者）を従来どおり保健所が医療機関と連携して重点的に対応
- 重症化リスクの低い方（発生届出対象外の方）のため「陽性者コンタクトセンター」を新たに設置し、陽性者に登録してもらうことで、今までの支援を継続  
(センター支援内容)
  - ・療養期間中の体調が悪化した方を医療機関へつなげる
  - ・パルスオキシメーター貸出や健康観察、必要な方への食料配布などの支援
  - ・療養期間中の様々な相談対応 など
- 機能別クラスター対策チームによる現地確認や助言指導により施設内での感染拡大の防止

#### (2) 運用状況

##### ①届出対象者への対応について

- ・保健所への届出対象者数が大幅に減少（全体陽性者の約2割）したことで、陽性者へのフォローアップ開始が1～2日スピードアップとなっている。

##### ②届出対象外の方の支援を行う「陽性者コンタクトセンター」について

- ・医療機関等にセンター登録の案内チラシ配布を協力いただくことで、医療機関の患者への説明に要する負担を軽減しつつ、確実に周知できており、9月11日までの登録対象者の登録割合は98%となっている。

【登録者数（9/2～11）】1,475人（陽性者数(届出分除く)1,506人）

【各種相談件数（9/2～14）】2,932件

- ・登録にあたり、電子申請を導入し、手続の簡略化・効率化を図ったことで、登録翌日には健康観察やパルスオキシメーター等の配送を行うことができています。
- ・コンタクトセンター内に県看護協会と連携して看護師を配置し、届出対象者と同様に療養中の健康相談に適切に対応できる体制を整備して手厚いサポートを実施している。

##### ③医療機関の声

- ・医療機関の負担も軽減できており、特に軽症患者を多く診ている小児科から歓迎の声をいただいている。

# 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取組状況について

令和4年9月20日  
新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム

## 1 本県の接種状況

### (1) 県全体の接種状況

(9月14日時点)

全年代	1回接種者	2回接種者	3回接種者	4回接種者
総接種回数	446,084	440,648	356,403	153,661
人口当たり接種率	80.87%	79.88%	64.61%	27.86%

### (2) 年代別接種状況

(9月14日時点)

	1回目	2回目	3回目	対象人口 (住基本人口)	接種率 (1回目)	接種率 (2回目)	接種率 (3回目)
0～4歳	—	—	—	20,183	—	—	—
5～11歳	8,341	7,893	—	33,140	25.2%	23.8%	—
12～19歳	30,522	29,947	16,423	40,247	75.8%	74.4%	40.8%
20代	38,806	38,232	24,696	46,291	83.8%	82.6%	53.3%
30代	45,001	44,384	29,978	56,499	79.6%	78.6%	53.1%
40代	61,199	60,499	45,009	73,114	83.7%	82.7%	61.6%
50代	60,245	59,640	50,603	67,241	89.6%	88.7%	75.3%
60～64歳	32,478	32,193	29,658	35,848	90.6%	89.8%	82.7%
65～69歳	37,174	36,864	34,939	40,576	91.6%	90.9%	86.1%
70代	72,520	71,853	69,089	75,664	95.8%	95.0%	91.3%
80代以上	59,798	59,143	56,010	62,806	95.2%	94.2%	89.2%
合計	446,084	440,648	356,403	551,609	80.9%	79.9%	64.6%

※母集団となる人口データは、住民基本台帳年齢階級別人口（令和4年1月1日時点）を利用

## 2 オミクロン株対応ワクチン（2価ワクチン）について

### (1) 2価ワクチンの概要

令和4年9月14日、厚生労働省の専門部会（分科会）が開催され、ファイザー社及びモデルナ社のオミクロン株対応型ワクチン（2価ワクチン）の接種を特例臨時接種として20日から開始することについて了承。また特例臨時接種の期間も、令和5年3月31日までと延長されることとなった。（現在は令和4年9月30日まで）

本県における対応状況について、9月22日（木）に経済団体等を加えた拡大版の新型コロナウイルスワクチン接種体制協議会において、方針を確認する予定。

### 【2価ワクチンについて】

接種対象者	初回接種を完了した12歳以上のすべての住民 (ファイザー社製は12歳以上、モデルナ社製は18歳以上)
ワクチンの種類	オミクロン株(BA.1)と従来株に対応した2価ワクチン
接種開始時期	9月20日
接種間隔	前回の接種から少なくとも5か月以上(※)経過した者 ※今後、接種間隔を3か月としている海外の動向、有効性、安全性等の情報を踏まえ、接種間隔を短縮する方向で検討し、10月下旬までに結論を得ることとされている。
接種回数	追加接種として1回
公的関与規定	接種勧奨・努力義務ともに適用
交互接種について	前回の接種までに用いたワクチンの種類に関わらず、ファイザー社またはモデルナ社の2価ワクチンによる追加接種可
その他	令和4年中には十分な量のワクチンを供給する予定であることも踏まえ、年内には全ての方が接種可能となるよう体制を整備することとされている(全国で1日当たり100万回(1日あたり人口比0.8%分)を超えるペース)

なお、9月13日、ファイザー社がBA.5ベースの新たな改良型ワクチンを厚生労働省に承認申請中。モデルナ社も準備が整い次第、BA.5がベースの改良型ワクチンを承認申請する見込み。  
(報道情報)

## (2) ワクチン供給量と本県の接種対象者について

11月から接種間隔見直し(5→3か月)した場合の接種対象者数試算(9/12時点)

接種が可能な時期	R4.9月	R4.10月	R4.11月	R4.12月	合計
<b>60歳以上</b>	<b>45,311</b>	<b>13,439</b>	<b>64,764</b>	<b>75,464</b>	<b>198,978</b>
4回目接種完了者	—	—	58,759	75,243	134,002
3回目接種完了しており4回目が未接種の方	35,151	13,307	5,811	195	54,464
2回目接種完了しており3回目が未接種の方	10,160	132	194	26	10,512
<b>12～59歳</b>	<b>68,751</b>	<b>47,234</b>	<b>98,668</b>	<b>16,852</b>	<b>231,505</b>
4回目接種完了者	—	—	1,680	15,723	17,403
3回目接種完了しており4回目が未接種の方	33,564	45,967	67,624	1,032	148,187
2回目接種完了しており3回目が未接種の方	35,187	1,267	29,364	97	65,915
<b>合計</b>	<b>114,062</b>	<b>60,673</b>	<b>163,432</b>	<b>92,316</b>	<b>430,483</b>

 **ワクチン供給量 計:141,910回分(当初 129,060回+9/13 追加12,850回(10月前半配送))**

ワクチン供給	95,130	46,780	※順次供給予定
--------	--------	--------	---------

### < 9月16日時点で判明している本県へのワクチンの種類別配分 >

区分	配送予定時期	ファイザー				モデルナ				合計	
		配分数	箱	接種可能数	回	配分数	箱	接種可能数	回	接種可能数	回
1クール	R4.9/19～	37	箱	43,290	回	86	箱	4,300	回	47,590	回
2クール	R4.9/26～	37	箱	43,290	回	85	箱	4,250	回	47,540	回
3クール	R4.10/3～	29	箱	33,930	回	86	箱	4,300	回	38,230	回
4クール	R4.10/10～		箱		回	171	箱	8,550	回	8,550	回
		103	箱	120,510	回	428	箱	21,400	回	141,910	回

## (3) 本県における2価ワクチンの接種

9月24日の県営会場を皮切りに、医療機関における個別接種や市町村営の集団接種が順次行われる見込み。併せて職域接種も実施し、接種をすすめていく。

### 3 小児接種の3回目接種及び努力義務化について

9月6日より5歳以上11歳以下の3回目接種が開始した。県内でも対象となる2回接種完了後5か月以上経過した小児に対して接種券が送付されており、10月に接種がピークとなる予想。  
また、同日9月6日より小児接種に努力義務が適用され、本県においては知見を踏まえたチラシを作成し、保育園・幼稚園及び小学校に配布したり、対象児の保護者世代に向けてSNSを使用した広報をしたりなど、接種勧奨に努めている。

さらに、夏休み期間に好評であった5歳以上11歳以下の小児接種の特設会場(イオンモール日吉津)を9月18日(日)より再開し、西部医師会と連携し、今後も接種の促進を図っていく。

### 4 予防接種法に基づく医療機関からの副反応疑い報告状況について

前回報告時(8月19日)から副反応疑い報告件数の増加はなし。

区分	鳥取県				
	ファイザー社	小児ファイザー	モデルナ社	アストラゼネカ社	武田社(ノババックス)
ワクチンの種類					
推定接種回数	1,006,217回	16,223回	220,180回	63回	369回
副反応疑い件数	71 (0.007%)	0件 (0.000%)	5件 (0.002%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)
うち死亡報告数	11 (0.001%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)
うちアナフィラキシー報告数	17 (0.002%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)
全国(8月7日現在)					
推定接種回数	229,103,030回	2,886,452回	71,034,136回	117,582回	118,547回
副反応疑い件数	29,300件 (0.013%)	115 (0.004%)	5,165件 (0.007%)	16件 (0.014%)	16件 (0.013%)
うち死亡報告数	1,643件 (0.001%)	1 (0.000%)	171件 (0.000%)	1件 (0.001%)	0件 (0.000%)
うちアナフィラキシー報告数	3,286件 (0.001%)	9 (0.000%)	574件 (0.001%)	6件 (0.005%)	9件 (0.008%)

※全国の死亡報告数は、医療機関及び製造販売業者からのものを合算した数

※鳥取県及び全国の推定接種回数には追加接種(3回目接種)の回数を含む (9月13日現在)